



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ハークスレイ

コード番号 7561 URL <http://www.hurxley.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 青木 達也

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総務部長 (氏名) 井手 是幸

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

TEL 06-6376-8088

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	36,532	△3.5	605	35.3	1,218	19.2	1,018	59.5
26年3月期第3四半期	37,868	△7.2	447	△0.7	1,022	10.6	638	5.1

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,078百万円 (58.7%) 26年3月期第3四半期 679百万円 (1.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	102.02	—
26年3月期第3四半期	63.97	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	37,739	18,609	49.2	1,859.44
26年3月期	37,780	18,015	47.0	1,779.13

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 18,565百万円 26年3月期 17,764百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
27年3月期	—	13.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	△2.1	1,050	71.2	1,550	15.8	1,080	△47.8	108.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	11,025,032 株	26年3月期	11,025,032 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	1,040,799 株	26年3月期	1,039,857 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	9,985,080 株	26年3月期3Q	9,985,297 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく、四半期財務諸表のレビュー手続は終了いたしております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融政策により円安株高傾向が進行し、輸出関連企業を中心に業績の改善が見込まれるものの、円安による仕入価格の上昇やそれに伴う物価の上昇への懸念等個人消費活動を抑制する要因もあり、依然として国内経済の下振れリスクが存在し、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、持ち帰り弁当事業では、食に対する安心、安全への「こだわり」をビジネスの中心に据え、多様化するお客様のニーズにお応えすべく食材を厳選し、旬の食材を通じて季節を感じていただくことをコンセプトとした季節メニューのリニューアル、新商品の開発、顧客満足度向上に繋げるための店舗従業員研修を進めてまいりました。また、店舗管理事業で安定収益を確保するとともに、店舗委託事業においても優良物件の仕入、不採算店舗の解約や撤退等、収益及び利益率の向上を進めてまいりました。

このような中、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高365億32百万円（前年同期比3.5%減）、営業利益6億5百万円（前年同期比35.3%増）、経常利益12億18百万円（前年同期比19.2%増）、四半期純利益10億18百万円（前年同期比59.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①持ち帰り弁当事業

地域の人たちの豊かな食生活に貢献する「わたしの街の台所」として、お客様に接する際の3Hの信念（Honesty=まじめに、Hot=あたたかいお弁当を、Heart=こころをこめて）をモットーに、手作りによる家庭の温もり、まごころ、安心感をお届けする信頼の食を追求しております。

持ち帰り弁当事業においては、「鶏ごぼう御膳・鶏ごぼう弁当」など旬の食材をお届けする季節メニューのリニューアル、お買い得感を訴求した「天井」「得しょうが焼弁当」「牛とじ弁当」などの商品開発を行うとともに、有名キャラクターとタイアップした「冬のオードブルキャンペーン」を実施するなど、お客様一人ひとりのニーズに寄り添った価値の提供に努めてまいりました。また、専用メニューを導入した弁当の宅配サービス事業「ほっか食楽」について、主に高齢者向けに取扱地域の拡大を図ってまいりました。さらに店舗運営形態の変更、照明のLED化などランニングコストの削減に取り組み、営業利益率の改善、収益力の向上に努めてまいりました。

持ち帰り弁当事業の売上高は、166億84百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は11億39百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

#### ②店舗委託事業

店舗委託事業においては、開拓エリアの拡充に向けて、関西エリアの飲食店の居抜きでの譲渡依頼や買取査定を募る公式サイトである店舗買取サイト「関西専門！店舗買取ネット」を開設し、運営を開始いたしました。

また第2四半期より進めてまいりました不採算店舗の解約や撤退を行い、空家賃の圧縮に努め、収益及び利益率の向上に注力してまいりました。業務委託店舗の売上は回復基調にあるものの、前期からの転貸店舗の大規模な撤退によるストック収入の減少の影響から、店舗委託事業の売上高は、165億31百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益1億5百万円（前年同期比29.1%減）という結果となりました。

#### ③店舗管理事業

店舗管理事業においては、当社保有物件のリーシング活動により安定した賃料収入を確保し、再契約による更新料収入や管理受託物件のリーシング活動による仲介手数料収入を獲得し、堅調に推移いたしました。その結果、店舗管理事業の売上高は、4億87百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益は2億55百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

#### ④店舗直営事業

店舗直営事業においては、「江戸前びっくり寿司」及び「廻転びっくり寿司」にて、寿司屋ならではの食材を活かした鍋メニューの実施やマグロ・ブリの解体ショーといった販売活動を展開し、また不採算店を閉店するなど収益確保の施策を行ってまいりましたが、再開発等による閉店、撤退の影響により、店舗直営事業の売上高は、10億57百万円（対前年同期比27.6%減）、営業損失29百万円（前年同期は営業利益50百万円）となりました。

#### ⑤その他の事業

フレッシュ・ベーカリー事業においては、新商品の提案とブラッシュアップしたリニューアル商品の提案に引き続き力を入れており、平成26年10月にオープンしましたHOKUO cafe千里中央店では、オーガニックの原材料を使用した焼き菓子などの商品を販売しご好評をいただいております。

物流関連事業につきましては、既存インフラの強化とともに、グループ外企業からの配送、食材加工、製品化等の受託拡大を推進しております。

その他の事業の売上高は、17億72百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益は71百万円（前年同期は営業損失38百万円）となりました

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ40百万円減少し、377億39百万円となりました。主な要因として、現金及び預金が18億66百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が1億16百万円、建物及び構築物が6億27百万円、土地が10億41百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ6億34百万円減少し、191億30百万円となりました。主な要因として、買掛金が3億7百万円増加しましたが、長期借入金が7億91百万円、負ののれんが2億4百万円減少したことによるものです。

少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ5億93百万円増加し186億9百万円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の47.0%から2.2ポイント上昇し49.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の連結業績は想定した範囲内の実績であり、平成27年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,516,093	7,382,441
受取手形及び売掛金	2,141,935	2,025,472
有価証券	14,265	—
商品及び製品	530,718	469,508
原材料及び貯蔵品	110,536	113,894
繰延税金資産	140,530	97,602
その他	882,095	839,122
貸倒引当金	△91,105	△24,527
流動資産合計	9,245,068	10,903,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,204,206	6,577,058
機械装置及び運搬具(純額)	102,863	95,854
工具、器具及び備品(純額)	379,137	383,294
土地	12,194,216	11,152,746
リース資産(純額)	127,723	107,489
建設仮勘定	16	23,796
有形固定資産合計	20,008,164	18,340,240
無形固定資産		
のれん	175,462	147,700
その他	171,173	148,182
無形固定資産合計	346,636	295,883
投資その他の資産		
投資有価証券	1,503,972	1,714,773
長期貸付金	250,687	236,234
敷金及び保証金	5,605,011	5,608,741
繰延税金資産	152,780	110,282
長期未収入金	1,528,747	1,545,211
その他	709,547	645,425
貸倒引当金	△1,569,830	△1,660,362
投資その他の資産合計	8,180,917	8,200,307
固定資産合計	28,535,717	26,836,431
資産合計	37,780,785	37,739,946

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,357,361	2,664,412
短期借入金	664,672	686,775
1年内返済予定の長期借入金	1,240,440	1,089,780
未払金	878,381	898,127
未払法人税等	158,387	169,148
未払消費税等	49,191	291,809
賞与引当金	185,476	124,432
その他	1,688,652	1,821,590
流動負債合計	7,222,561	7,746,075
固定負債		
社債	57,500	22,500
長期借入金	7,755,265	6,964,240
退職給付に係る負債	43,037	44,269
負ののれん	272,978	68,244
長期預り保証金	3,399,699	3,418,649
繰延税金負債	368,917	263,648
資産除去債務	354,765	366,440
その他	290,765	236,637
固定負債合計	12,542,928	11,384,629
負債合計	19,765,490	19,130,704
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,036,649	4,036,649
資本剰余金	3,930,816	3,930,816
利益剰余金	11,254,142	12,002,996
自己株式	△1,515,246	△1,515,246
株主資本合計	17,706,362	18,455,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,552	109,902
その他の包括利益累計額合計	58,552	109,902
新株予約権	—	1,766
少数株主持分	250,379	42,356
純資産合計	18,015,294	18,609,241
負債純資産合計	37,780,785	37,739,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	37,868,535	36,532,894
売上原価	28,819,357	27,855,006
売上総利益	9,049,177	8,677,887
販売費及び一般管理費	8,601,601	8,072,383
営業利益	447,575	605,503
営業外収益		
受取利息	13,663	5,628
受取配当金	6,423	6,801
受取賃貸料	167,441	152,510
負ののれん償却額	220,317	204,733
業務委託契約解約益	152,679	103,650
持分法による投資利益	17,402	146,116
その他	206,352	153,129
営業外収益合計	784,279	772,570
営業外費用		
支払利息	83,615	48,360
賃貸費用	43,510	35,829
業務委託契約解約損	12,448	41,195
訴訟関連費用	3,780	4,199
その他	66,366	30,222
営業外費用合計	209,721	159,806
経常利益	1,022,132	1,218,268
特別利益		
固定資産売却益	30,952	12,172
投資有価証券売却益	4,904	—
受取和解金	457	750
負ののれん発生益	—	92,192
受取保険金	—	25,994
その他	5,805	—
特別利益合計	42,119	131,109
特別損失		
固定資産除却損	192,405	30,019
固定資産売却損	349	12,919
投資有価証券売却損	—	1,415
投資有価証券評価損	30,300	5,300
減損損失	19,111	42,109
その他	12,141	18,090
特別損失合計	254,307	109,855
税金等調整前四半期純利益	809,945	1,239,521
法人税、住民税及び事業税	223,914	253,679
法人税等調整額	△63,485	△39,543
法人税等合計	160,428	214,136
少数株主損益調整前四半期純利益	649,516	1,025,385
少数株主利益	10,784	6,755
四半期純利益	638,731	1,018,629



（四半期連結包括利益計算書）  
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	649,516	1,025,385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,987	40,075
持分法適用会社に対する持分相当額	7,765	12,705
その他の包括利益合計	29,752	52,780
四半期包括利益	679,269	1,078,165
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	668,484	1,069,980
少数株主に係る四半期包括利益	10,784	8,185

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	17,650,806	16,495,211	424,545	1,459,841	36,030,405
セグメント間の内部売上高又は 振替高	186,756	43,967	—	5,000	235,723
計	17,837,562	16,539,178	424,545	1,464,841	36,266,128
セグメント利益又は損失(△)	1,154,358	148,971	239,488	50,236	1,593,054

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	1,838,130	37,868,535	—	37,868,535
セグメント間の内部売上高又は 振替高	2,194,170	2,429,894	△2,429,894	—
計	4,032,300	40,298,429	△2,429,894	37,868,535
セグメント利益又は損失(△)	△38,216	1,554,838	△1,107,262	447,575

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・バーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,107,262千円には、セグメント間取引消去△45,702千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△1,061,560千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	16,684,246	16,531,757	487,174	1,057,391	34,760,568
セグメント間の内部売上高又は 振替高	177,336	25,714	—	—	203,050
計	16,861,582	16,557,471	487,174	1,057,391	34,963,619
セグメント利益又は損失(△)	1,139,300	105,683	255,688	△29,159	1,471,512

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	1,772,325	36,532,894	—	36,532,894
セグメント間の内部売上高又は 振替高	2,077,640	2,280,691	△2,280,691	—
計	3,849,966	38,813,585	△2,280,691	36,532,894
セグメント利益又は損失(△)	71,857	1,543,370	△937,866	605,503

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ペーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△937,866千円には、セグメント間取引消去△19,926千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△917,940千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「店舗委託事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に、将来の回収可能性を検討した結果、当初予測したキャッシュ・フローが見込めないため、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては32,720千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

平成26年12月17日付けで、連結子会社である株式会社ほっかほっか亭総本部、株式会社鹿児島食品サービスの株式を追加取得いたしました。これにより、「持ち帰り弁当事業」セグメントにおいて92,192千円負ののれん発生益を計上しております。